

## ヒューマンライツ教育財団の設立

教育財団は、人材教育を目的に 1993 年 12 月 18 日に設立されました。部落解放運動への思いを込めて長年にわたって累々と積み上げてきた蓄財を基金にして立ち上げられました。

### 《設立趣旨》

「被差別部落西成地区は、部落出身者をはじめ、朝鮮半島、沖縄の出身者、都市の潜在的失業者の転居により、明治以降に成立しました。大阪大空襲で半数が廃墟となるなどの困難を乗り越え、部落解放運動を中心に『にんげんの街』を求めて幾多の努力が払われてきました。この街には社会的差別の克服や外国人労働者の人権、異文化との共生などの進取の気運が育まれてきました。

そこで、この精神的財産を、我が国の都市に、またアジアをはじめ世界の都市に還元し、『スラム』を『にんげんの街』に変革するための一助としたいと願いました。そのためには『スラム』問題や外国人労働問題などの調査・研究やアジアをはじめとした国々との交流、時代を担う人材の育成が求められていることから、財団法人ヒューマンライツ教育財団は設立されました。」

教育財団の実施する主な事業は次の四本柱で成り立っています。

1. 奨学金事業
2. 海外留学生奨学金事業
3. 人権教育助成事業
4. 部落問題調査・研究事業

当時の西成地区は高校卒業以上の人が半数もなく、高校中退が急増するなど、教育権が不十分にしか保障されない実態がありました。

当時の西成地区を、大阪市・府が実施した「同和地区生活実態調査」（90・平成 2 年）に基づいて分析された『西成地区生活白書』から、概要をみると

#### a. 環境及び生活面からみた西成地区

ア) 築後 30 年以上の老朽化住宅 36.3%、長屋建て 31.9%、最低居住水準未満世帯 32.2%と住環境の改善が遅れていることを示しており、「住環境への不満・困窮」を訴える世帯は 73.3%にのぼっています。

エ) 最終学歴が高校卒業以上の人は42.1%と半数もなく、高校中退が急増しており、読み書きに苦勞している人は531人にのぼっています。このように教育権が不十分にしか保障されていない実態にあります。

生活実態を基本にした調査結果からも同和問題の解決に向けて改善すべき多くの課題が西成地区に存在しています。この実情は現在でも改善されていない現状にあります。



西成区は在日韓国・朝鮮籍の人たちの大阪市における集住区の一つであり、とりわけ西成地区とその周辺に居住していると考えられていました。

西成区は生野区、東成区に続く在日韓国・朝鮮籍の人たちの大阪市における集住区の一つになっています。「`96西成人権白書」では次のように示しています。

西成区の外国人登録者数は、2,397世帯・8,287人(95・平成7年現在)と区の総人口に占める割合は5.80%となっています。大阪市の総人口に占める外国人登録者(42,196世帯・120,222人)の割合は4.62%となっており、近年国際化が進む大阪市にあっても西成区は多くの外国人が居住する行政区になっています。

a. 外国人登録者数の経年変化

b. 児童・生徒数でみる西成区の中の定住外国人と在日韓国・朝鮮人

⋮

c. 『西成地区生活実態調査』(92・平成4年・部落解放同盟西成支部)から

『西成地区生活実態調査』で把握された外国人は2,231人となっており、西成地区の17.21%を占め、区の総人口に占める割合の5.80%を大きく上回っています。

この実態調査と中学校区における児童・生徒の在籍数から類推して、その大多数が在日韓国・朝鮮籍の人たちであると考えられます。

実態調査の数字は西成区全体の外国人数の27%、区内の在日韓国・朝鮮人全体の30%にあたり区全体の4割から半数に近い定住外国人とりわけ在日韓国・朝鮮人が西成地区とその周辺に居住していると思われま

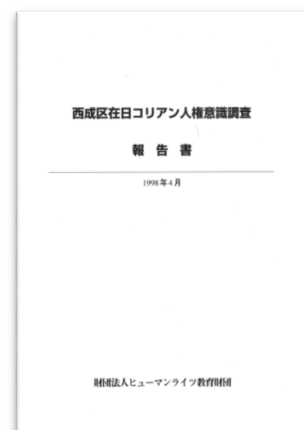
教育財団の事業として今日までに、タイとニュージーランドへの2回の海外派遣事業や「西成区在日コリアン人権意識調査」を実施するとともに、単年度の奨学金事業として四期にわたり35件21人に対する給付を行っています。

「西成区民の人権宣言」の取り組みを背景に、「西成区在日コリアン人権意識調査」は教育財団が大阪市から委託を受けて実施されました。

「西成区在日コリアン人権意識調査」(財団法人ヒューマンライツ教育財団/1998年4月)は、既に西成まちづくり百話で紹介しました。

同調査は、区制70周年を迎えた1995年、「西成区民の人権宣言」(人間が人間らしく生きる西成のまちづくりを実現する区民宣言)を採択するなど、こうした取り組みを背景にして、教育財団が大阪市から委託を受けて実施されたものです。

調査は1997年4月より1998年3月までの1年間、西成区居住の在日コリアン(オールドカマーの在日韓国朝鮮人)の人権実態を調べるために西成区内で行われたものです。在日コリアンの人権諸問題に対する考えや意見を探究することを通して、彼等の社会参加の道筋を明らかにすることを第1の目的に、そして彼等の自己実現や個性の開花をこの西成のまちがどのように支援できるかを模索するための参考資料を生み出すことを第2の目的にしています。



財団設立の翌年7月に、西成地区の医療拠点である「ツルミ診療所」の代表である泉正夫先生から教育財団への寄付の申し出がなされ、その志を継承・発展させるために、医療・福祉の人材と運動の育成を目的とした「泉基金」を設立しています。

---

出典：一変身、5年の軌跡— 西成の部落解放運動 発行日：1998年7月15日

発行：部落解放同盟西成支部

：『96西成人権白書

発行日：1997年3月31日

発行：西成地区人権推進啓発推進会

：西成区在日コリアン人権意識調査 発行日：1998年4月

発行：財団法人ヒューマンライツ教育財団